# 旧: SPとIdPv4の連携動作確認(IdPv4)

# テストアカウントで接続確認する

# 1. httpdとTomcatの再起動

接続確認前にhttpdとTomcatを再起動します。

# systemctl stop tomcat
# systemctl restart httpd
# systemctl start tomcat

#### 2. テストSPにアクセス

実習セミナー内のSPサーバにアクセスして、確認します。

https://ex-sp.gakunin.nii.ac.jp/

#### 3. DSのIdP選択画面が表示

DSのIdP選択画面から構築したIdPを選択します。

※学認DSについての注意点:

一度選択したIdPが表示されている状態で、別のIdPを選択したい場合は、 「リセット」リンクをクリックすると選択可能な全てのIdPが表示されます。

### IdP選択時にブラウザにエラー(HTTPステータス 404 -)



IdPを選択した際に、ブラウザに下記のエラーが出力されます。

HTTPステータス 404 type ステータスレポート メッセージ 説明 The requested resource () is not available.

→IdPの各種設定ファイルにて記述ミスの可能性があります。

ログファイル /opt/shibboleth-idp/logs/idp-process.log を確認して下さい。(下記の"HandlerManager"や"RelyingPartyConfigurationManager"の部分で、どの設定ファイルに問題があるか判別可能です)

● /opt/shibboleth-idp/conf/handler.xml にて記述ミスがある場合

00:00:00:00.000 - ERROR [edu.internet2.middleware.shibboleth.common.config.BaseService:188] - Configuration was not loaded for shibboleth.HandlerManager service, error creating components. The root cause of this error was: org.xml.sax. SAXParseException: The content of elements must consist of well-formed character data or markup.

• /opt/shibboleth-idp/conf/metadata-providers.xmlにて検証用証明書の設定が間違っている場合

00:00:00:00.000 - ERROR [edu.internet2.middleware.shibboleth.common.config.BaseService:188] - Configuration was not loaded for shibboleth.RelyingPartyConfigurationManager service, error creating components. The root cause of this error was: java.io. FileNotFoundException: /opt/shibboleth-idp/credentials/gakunin-signer-2010.cer (No such file or directory)

→実習セミナー環境での検証用証明書は「**ex-fed.crt**」となっています。ファイルが指定場所にあるか、ファイル名が間違っていないか確認ください。

テストフェデレーション、運用フェデレーションにおける検証用証明書については技術ガイドのmetadata-providers.xml ファイルの変更を参照ください。

● /opt/shibboleth-idp/conf/metadata-providers.xml のMetadata Configuration付近にて記述ミスがある場合

00:00:00:00.000 - ERROR [edu.internet2.middleware.shibboleth.common.config.BaseService:188] - Configuration was not loaded for shibboleth.RelyingPartyConfigurationManager service, error creating components. The root cause of this error was: org.xml. sax.SAXParseException: cvc-complex-type.2.3: Element 'metadata:MetadataProvider' cannot have character [children], because the type's content type is element-only.

参考情報: 貴学にてIdPをインストールする場合の構築手順 - 4. Shibbolethのインストール(★) - 4. Tomcatの設定(★)

#### IdP選択時にページが見つからない(404 Not Found)



IE:

Webページが見つかりません。HTTP 404

可能性のある原因:

- アドレスに入力ミスがある。
- ・リンクをクリックした場合に、リンクが古い場合があります。

Firefox:

サーバが見つかりませんでした。

→/etc/httpd/conf.d/ssl.conf にて記述ミスの可能性があります。

参考情報: 貴学にてIdPをインストールする場合の構築手順 − 3. jdk7、tomcat7をインストールする(★) −5. httpd の設定(★)

# IdP選択時にブラウザにエラー(HTTPステータス 404 - /idp/profile/SAML2/Redirect/SSO)

IdPを選択した際に、ブラウザに下記のエラーが出力されます。

HTTPステータス 404 - /idp/profile/SAML2/Redirect/SS0 type ステータスレポート

メッセージ /idp/profile/SAML2/Redirect/SSO

説明 The requested resource (/idp/profile/SAML2/Redirect/SSO) is not available.

→\$CATALINA\_HOME/webappsにidp.warファイルがきちんとコピーできていない可能性があります。

参考情報: 貴学にてIdPをインストールする場合の構築手順 - 4. Shibbolethのインストール (★) -5. idp.war の配置 (★)

#### 4. ログイン

設定したIDとPasswordを利用してログイン



# ❷ 実習セミナー

・接続確認用ユーザ情報は、以下のようになっています。

ID: test001、パスワード: test001 ID: test002、パスワード: test002 ID: test003、パスワード: test003

何れかを使用して、ログインしてください。

ID, パスワードを入力してログインした後、IdPv3の標準機能となった送信属性同意画面が表示されます。

Acceptをクリックして表示される環境変数に、IdPで公開するように設定した値(LDAPに保存されている eduPersonPrincipalNameなど)が含まれている ことを確認します。

これが、SPへ送信したユーザの属性情報となります。

### IdPで認証時にエラー (Credentials not recognized.)

IdP選択後、認証画面にてログインした際に、ブラウザに下記のエラーが出力されます。



Credentials not recognized.

また、/opt/shibboleth-idp/logs/idp-process.log に下記のエラーが出力されます。

00:00:00.000 - WARN [edu.vt.middleware.ldap.auth.SearchDnResolver:1105] - Error performing LDAP operation, retrying (attempt 0)

→/opt/shibboleth-idp/conf/ldap.properties にて記述ミスの可能性があります。

参考情報: IdPv3セッティング − Idap.properties ファイルの変更(★)

# IdPで認証時にエラー(Message was signed, but signature could not be verified)

IdP選択後、認証画面にてログインした際に、ブラウザに下記のエラーが出力されます。



opensaml::FatalProfileException at (https://ex-sp.gakunin.nii.ac.jp/Shibboleth.sso/SAML2/POST) Message was signed, but signature could not be verified.

→ トラブルシューティング を参照下さい。



